

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

夜蛾類（果実吸蛾類）の防除対策の徹底について

夏季に夜温が高い日が続くと、夜蛾類の活動が活発になり、果樹への加害が増加します。

九州北部地方の3か月予報（福岡管区気象台、6月23日発表）では、向こう3か月（7～9月）の気温は高いと予想されており、本年も夜蛾類による被害が発生するおそれがあります。

つきましては、下記事項を参考に、防除対策を徹底するよう生産者への指導をお願いします。

記

1. 夜蛾類の生態

1) 果実を加害する主な種は、アカエグリバ、ヒメエグリバ、アケビコノハである（写真1）。幼虫は林野に自生するアケビ、カミエビ等の植物を餌として生育している（表1）。成虫は日没直後から果樹園に飛来し、果実に口器で小さな穴をあけて果汁を吸汁する（写真2、3）。吸汁された果実は、後に腐敗することが多い。

2) いずれの種も、高温乾燥が続くと活動が盛んになる。特に、夜温25℃以上の日が続くと活動が活発となり被害が大きくなる。



写真1 アケビコノハ成虫



写真2 夜蛾による被害（ナシ）

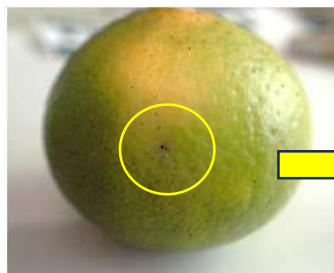


写真3 夜蛾による被害（カンキツ）

表1 夜蛾類の幼虫の餌植物

夜蛾類	餌植物
アカエグリバ	カミエビ
ヒメエグリバ	カミエビ
アケビコノハ	カミエビ、アケビ、ムベ

2. 防除対策

1) 物理的防除

(1) 防蛾灯の設置

①防蛾灯を設置すると被害を回避できる（写真 4）。光源は、黄色灯（波長 600 nm）を用いる。夜蛾類の活動を抑制し被害を無くすためには、園内くまなく 1 ルクス以上の明るさで照らすように忌避灯を設置する必要がある。



写真 4 防蛾灯を設置したナシ園

②忌避灯使用開始時に、きちんと点灯するか、園内の明るさは十分か（1 ルクス以上）、点灯時間は日没直前から日の出までとなっているか必ず確認する。

③点灯開始後も点灯状況を確認して、光源が切れたり、光の当たりムラがある場合は修理・調整する。季節が進むと日没～日の出の時間が変化するため、点灯時間を調整する。

(2) 防虫ネットの設置

網目 6 mm以下の防虫ネットで園全体を被覆する。

2) 耕種的防除

①果実の腐熟した匂いに誘引されるため、被害果や腐敗及び過熟した果実はその都度園外に持ち出し処分する。

②園周辺にある幼虫の餌植物（表 1）を除去し、発生源を無くす。

3) 薬剤防除

カンキツ・モモでは、夜蛾類による被害を確認したら薬剤を散布する（表 2）。これらの薬剤は残効が短いことと、使用回数や収穫前日数に注意して散布する。

表2 カンキツおよびモモで夜蛾類に登録のある薬剤

作物名	農薬名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
かんきつ	ロディー乳剤	アケビコノハ ヒメエグリバ	2,000倍	収穫7日前まで	4回以内
	アグロスリン水和剤	アケビコノハ ヒメエグリバ	2,000倍	収穫7日前まで	3回以内
もも	ロディー乳剤	アカエグリバ アケビコノハ	1,000～2,000倍	収穫前日まで	5回以内
	アグロスリン水和剤	オオエグリバ ヒメエグリバ			

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840 - 2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952) 45 - 8153 FAX (0952) 45 - 5085

Mail nougyougi.jutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00321899/index.html

病害虫総合防除計画掲載アドレス https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji003101844/index.html

防除セ二次元コード*



防除計画二次元コード*

